



2021年8月11日

各 位

会 社 名 日本コンクリート工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 塚本 博
(コード: 5269 東証第1部)
問い合わせ先 取締役常務執行役員 今井 昭一
(TEL 03-3452-1025)

2021年中期経営計画の策定について

当社は、2022年3月期を初年度とする「2021年中期経営計画」(2021年度～2023年度)を策定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

本中期経営計画では、当社グループの70年を越える歴史の中で培ってきた経営資源と果たすべき社会的使命を勘案し、「コンクリートを通して、安心・安全で豊かな社会づくりに貢献する」という経営理念に基づき、2030年に向けた中長期の方向性を踏まえ、持続的成長による企業価値向上に取り組めます。

当社グループは、今後も社会インフラ強靱化の一翼を担い、環境負荷を低減させる技術と商品群を提供することで社会貢献するとともに、当社グループのシナジーを発揮し更なる成長を実現し、企業価値の向上を目指してまいりますので、みなさまのより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 2021年中期経営計画の概要

1. 2030年に向けた中長期の方向性

「未来の社会生活基盤と地球環境を護る」

2. 基本方針

「グループ経営の推進による競争力強化と事業拡大で、国土強靱化と地球環境に貢献する」

3. 数値目標

(連結)	2020年度 (実績)	2023年度 (計画)
売上高	488.8 億円	640 億円
経常利益	31.8 億円	42 億円
(率)	6.5%	6.6%
ROA	4.4%	5.1%
配当金	9.0 円	13.0 円

※詳細につきましては、別紙資料をご覧ください。

以 上

(注)本資料に記載されている数値目標や将来見通し等は、本資料作成時において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。



2021年中期経営計画 (2021年度～2023年度)

2021年8月11日

CONTENTS

- | | |
|----------------------|------|
| (1) 前中期経営計画(18中経)の総括 | P. 1 |
| (2) 経営環境の見通し | P. 2 |
| (3) グループ経営の中長期的方向性 | P. 4 |
| (4) 中期経営計画の位置付け | P. 8 |
| (5) 2021年中期経営計画 | P. 9 |
| 参考資料 | P.14 |

(1)前中期経営計画(18中経)の総括



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

◆ 計画数値の全項目で目標達成、計画最終年度は過去最高益に

- ▶ 18中経最終年度の2020年度には、売上高は2017年度比+64.2億円、計画比+8.8億円の488.8億円
- ▶ 営業、経常、当期の3利益項目共に過去最高益を記録
- ▶ 9.0円/株の配当も実施(18中経の目標値)
- ▶ 加えて、大型M&A案件を決定する等、持続的成長へ布石を打った

前中期経営計画の計画と実績(最終年度)

	2017年度 実績 (A)	計画最終年度		比較	
		2020年度 計画 (B)	2020年度 実績 (C)	(C)-(A)	(C)-(B)
売上高 (億円)	424.5	480.0	488.8	64.2	8.8
経常利益 (億円)	22.0	26.5	31.8	9.8	5.3
ROA	3.2%	3.9%	4.4%	1.2%	0.5p
配当金 (円/株)	7.0	9.0	9.0	2.0	0.0

過去最高益

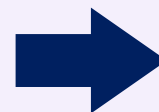
(2) 経営環境の見通し

社会経済環境の潮流

▶ 全般的な傾向としては

人口減少

国内経済
低成長



内需減少の
トレンド

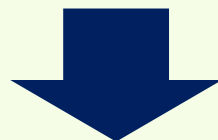
▶ 一方、地球規模で対応が求められている分野では

環境問題

- ▶ 気候変動激甚災害対応
- ▶ 地球環境保全

国の政策

- ▶ 国土強靱化
- ▶ カーボンニュートラル



社会生活基盤領域での市場拡大

(2) 経営環境の見通し

市場環境

パイル —総重量漸減—

- ▶ 高支持力化でパイル製品総重量漸減
- ▶ 完成工事高(金額)は増加傾向

ポール —需要多様化—

- ▶ 既設長期経年柱建替え需要
- ▶ 新規需要(5G携帯基地局等)・用途多様化

土木製品 —成長期待—

- ▶ 国土強靱化関連需要
- ▶ セグメント・プレキャスト製品需要

環境分野 —社会的要請—

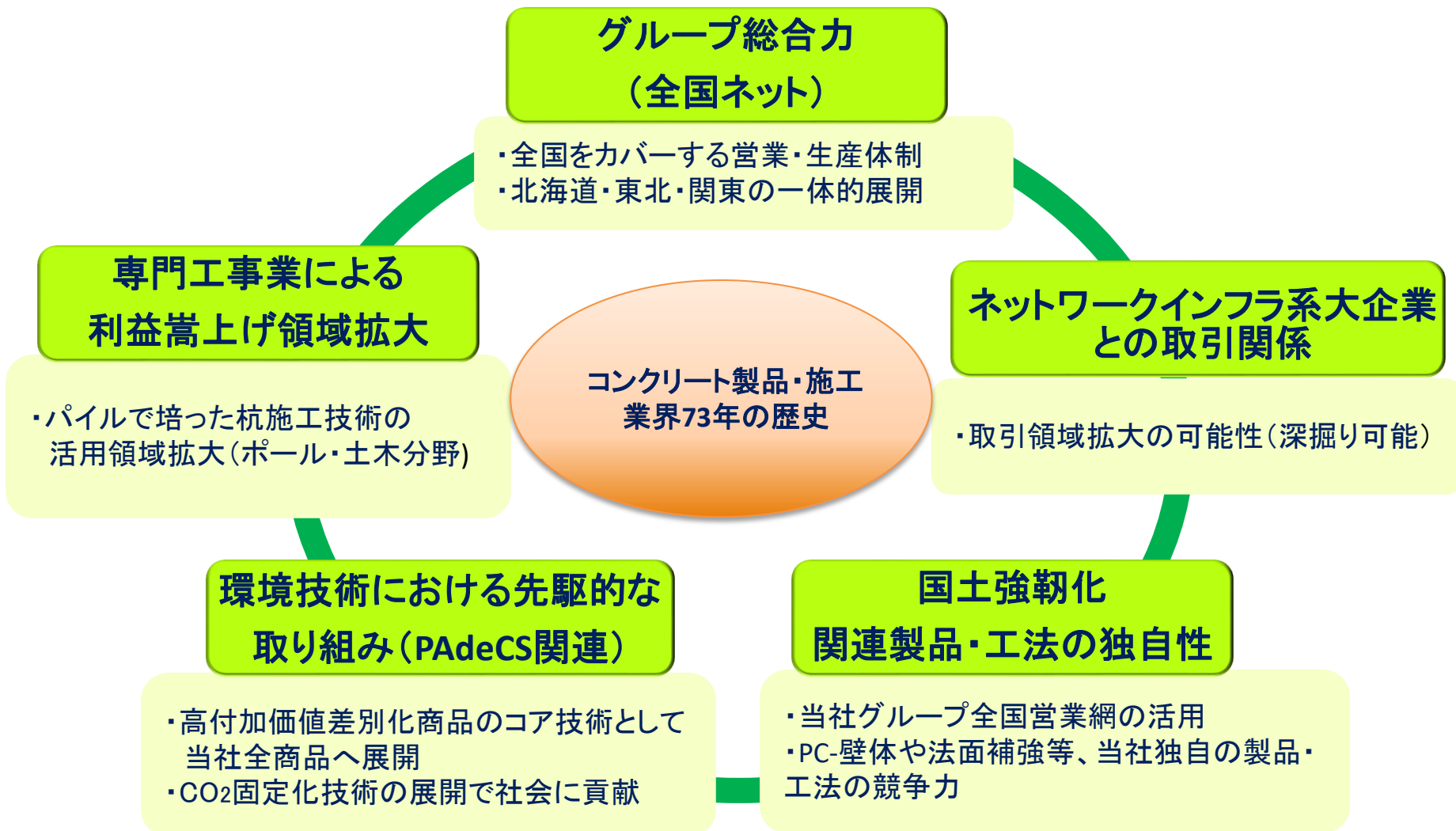
- ▶ CO₂削減(固定化)技術への引合急増
- ▶ グリーン商品への市場要求大

当社グループには成長の未来

(3) グループ経営の中長期的方向性



当社グループの強み



(3) グループ経営の中長期的方向性



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

2030年に向けて

国土強靱化と環境分野のニーズ

当社グループの強み
＜グループ力・環境技術・独自性＞

未来の社会生活基盤と地球環境を護る

— 既存事業の強化 と 土木・環境分野の伸長 —

高付加価値化

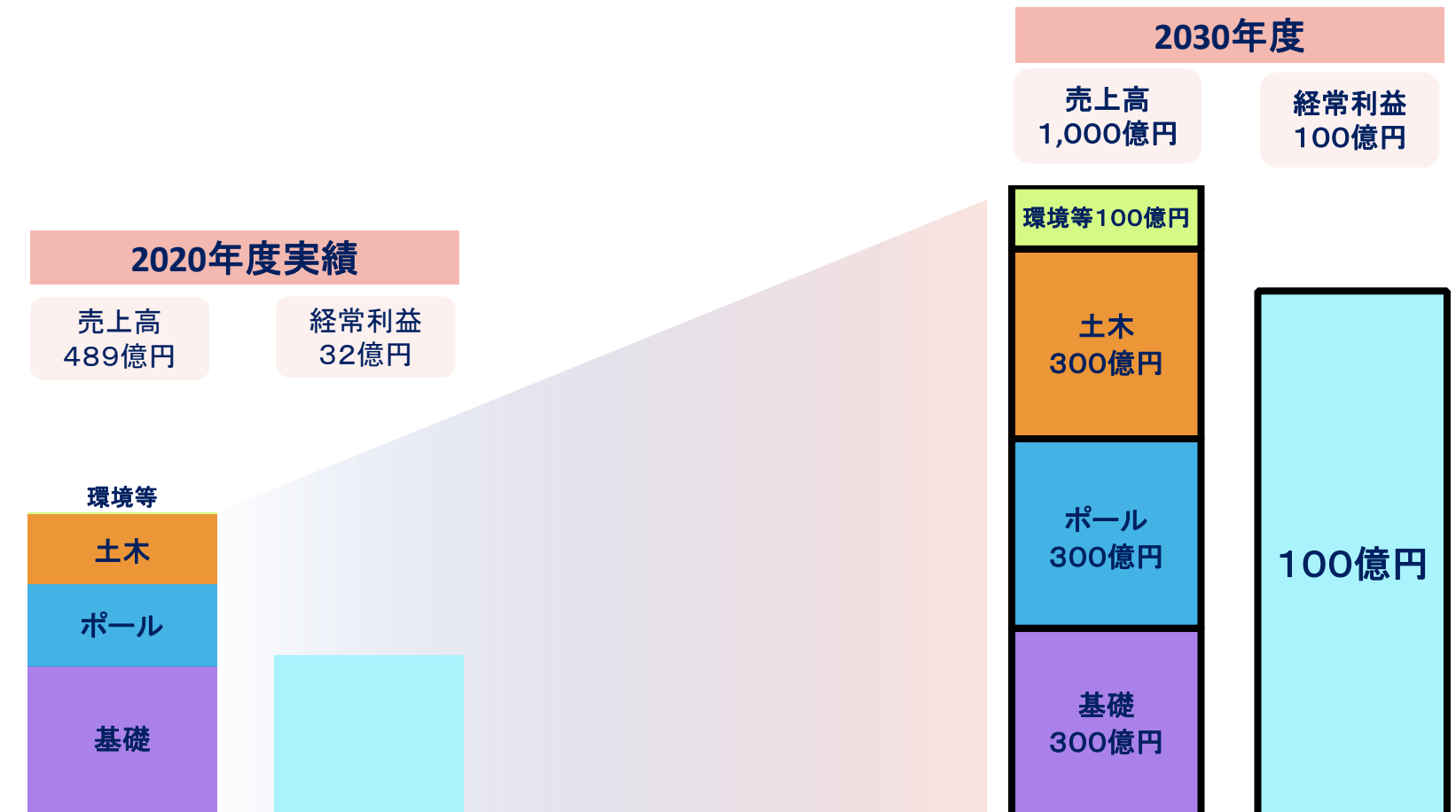
専門工事業化

(3) グループ経営の中長期的方向性



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

10年後の事業構造(イメージ)



10年後の2030年度には、

売上高1,000億円、経常利益100億円を目指す

(3) グループ経営の中長期的方向性



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

既存事業強化

● 基礎事業の質的転換

基礎エンジニアリング ・ パイルメーカー ・ 専門基礎工事業 夫々の強化

● ポールの総合サプライヤー

コン柱だけに拘らずお客様の必要とする**全てのポールの設計・製造・施工**を担う

● 土木事業拡大(国土強靱化に貢献)

既存**独自商品拡販**・新規商材開発・補修関連事業

● ESG ～環境技術の事業化&環境関連事業拡大～

独自のPAdeCS関連技術でCO₂固定化・削減を推進、同技術普及で社会に貢献

既存製品をCO₂固定化商品に転換

目標: 創業100周年(2048年度)にCO₂ネット排出量ゼロを実現

土木環境の伸長

● サステナビリティへの取組み、経営体質強化

地球温暖化対策、循環型社会への貢献、BCP対策
グループ経営強化(シナジー発揮)

経営強化

経営理念

コンクリートを通して、
安心・安全で豊かな社会づくりに貢献する

中長期の
方向性

2030年に向けて

未来の社会生活基盤と地球環境を護る

— 既存事業の強化 と 土木・環境分野の伸長 —

2021年
中期経営計画

中期経営方針

グループ経営の推進による
競争力強化と事業拡大で、
国土強靱化と地球環境に貢献する

- ▶ ①グループ経営推進強化
- ▶ ②経営体質改善

中期経営方針

グループ経営の推進による競争力強化と事業拡大で、国土強靱化と地球環境に貢献する

①グループ経営推進強化

- ▶ 既存事業の**競争力強化**(営業連携・生産連携・統一化推進等)
- ▶ **土木分野の事業拡大**で国土強靱化に貢献(PC一壁体・法面補強・セグメント等)
- ▶ **環境経営**への取り組み、地球にやさしい製品へ(所有特許を広く公開方針)

②経営体質改善

- ▶ 人材確保&人材育成、女性活躍促進(社員が成長できる環境づくり)
- ▶ グループ社員の働き甲斐と幸せを実現できる企業へ(行動理念 私たちのこだわりより)
- ▶ **プライム市場上場企業**として企業価値を高めステークホルダーの期待に応える

(5) 2021年中期経営計画(重点実施項目)

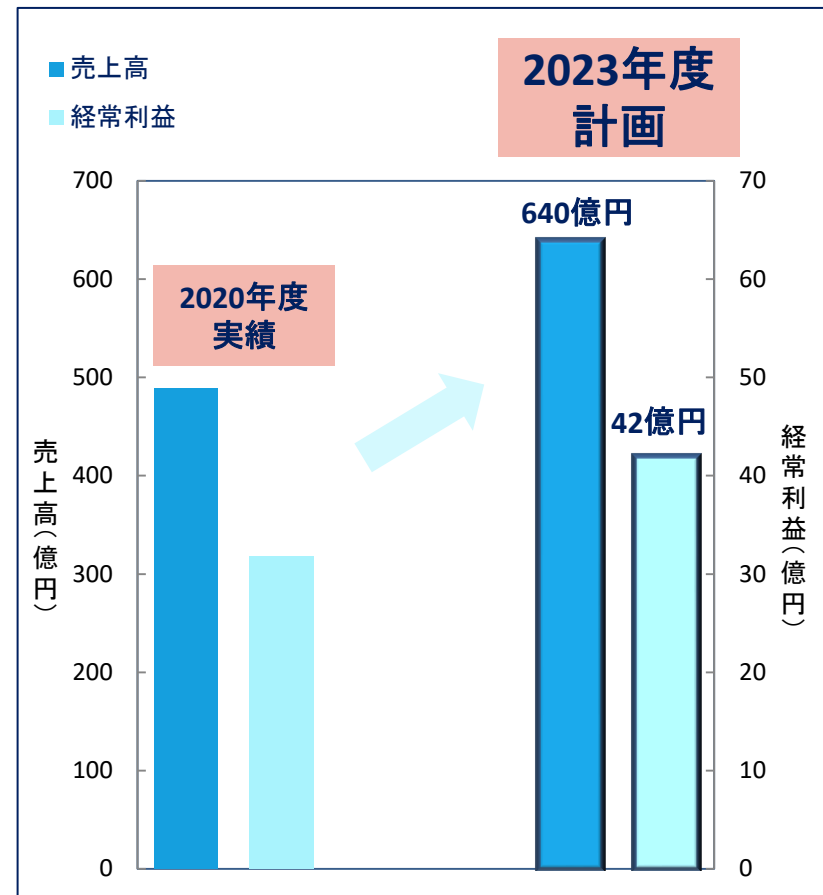


事業別	基礎	ポール	土木	環境等
	<ul style="list-style-type: none"> ■ グループ営業推進 ■ 設計折込強化 ■ 原価低減(製造・施工) ■ 新工法活用 ■ CO₂固定化商品投入 ■ 施工体制強化 工事利益の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 携帯電話基地局向け 需要対応 ■ エンジニアリング事業 ■ 建替需要捕捉 ■ 独自商品(COP)拡大 ■ 5G&6G対応準備 ■ メンテナンス事業推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ PC一壁体、法面補強 等全国展開 (グループ連携) ■ セグメント事業 利益率アップ ■ 国土強靱化商品開発 営業品目拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境目標の制定と実践 ■ PAdeCS関連技術の 事業化推進 (積極投資) ■ 自然エネルギー事業 取り組み拡大 ■ 海外事業(ミャンマー 対応、その他地域へ 展開)
経営 基盤 強化	技術開発	品質強化	経費削減	経営体質改善
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基礎新工法早期実用化 ■ 環境関連技術・商品開発 (グリーンONAP/パイル等) ■ 土木関連商品拡充 ■ ポール・セグメント 商品競争力強化 ■ 生産技術革新・ 生産性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ分析に基づく 実証的取り組み推進 (製造品質・施工品質・ 品質管理) ■ 施工管理DX化推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 製造原価・工事原価・ 販管費の聖域なき 見直し ■ 業務フロー効率化 (業務システム更新) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社員がレベルアップ できる仕掛け・環境 づくり ■ 第一線社員と経営 との対話 ■ 社員満足度向上(成 長・自己表現・貢献) ■ グループ経営推進

● M&Aによる事業規模拡大・持続的成長(10年後1000億円企業)

(5) 2021年中期経営計画(数値目標)

	2020年度 実績 (A)	2023年度 計画 (B)	比較 (B)-(A)
売上高 (億円)	488.8	640.0	151.2
経常利益 (億円)	31.8	42.0	10.2
ROA	4.4%	5.1%	0.7p
配当金 (円/株)	9.0	13.0	4.0



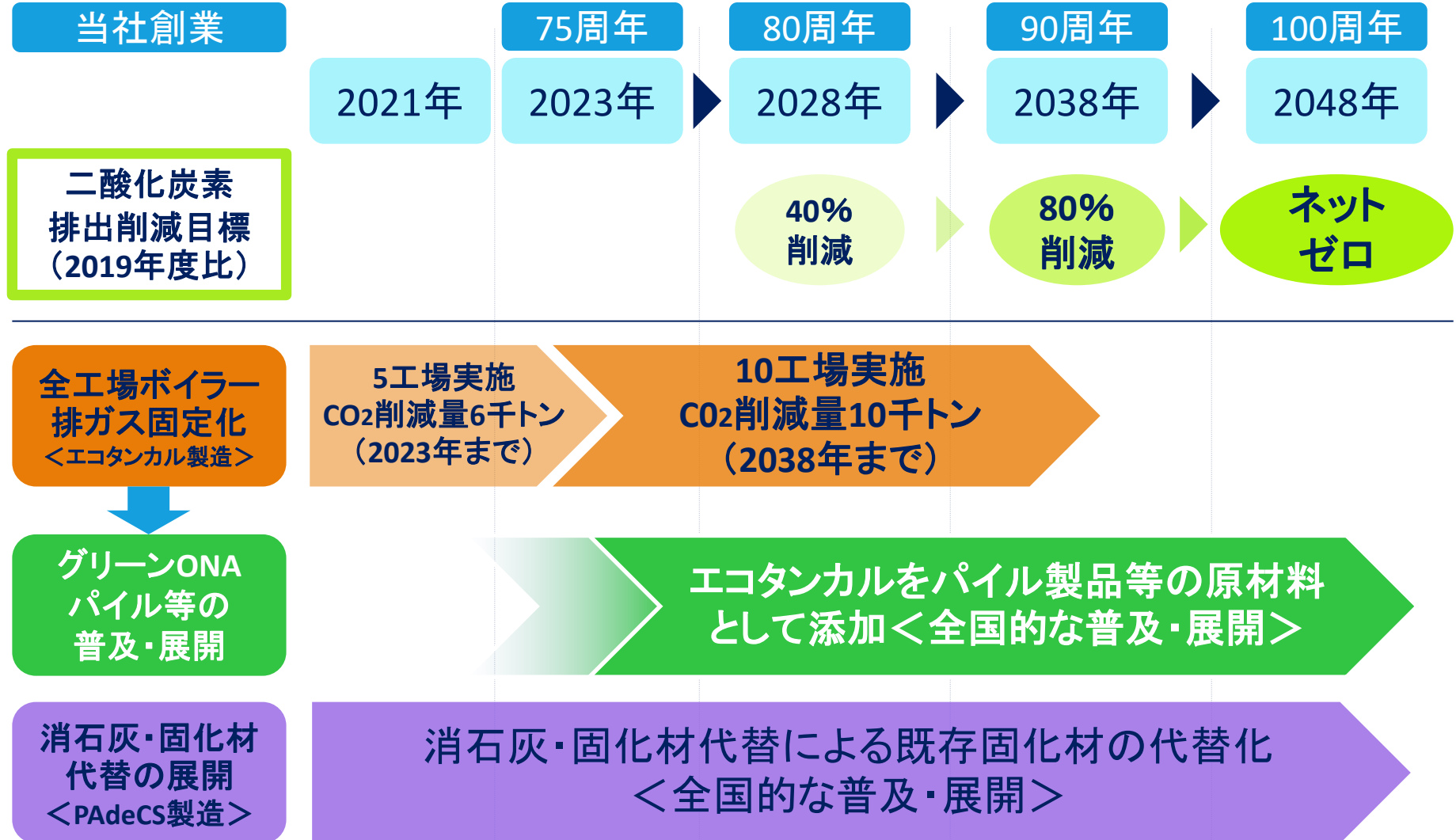
10年後1000億円売上(2020年度比510億円増額)企業への第1歩(2021中経)で150億円以上の売上増を目標

(5) 2021年中期経営計画 (環境への取り組み)



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

環境への取り組みロードマップ



【目標】創業100周年(2048年)にネットCO₂排出量ゼロ

- ◆CO₂固定化・削減の独自技術を活かして、環境商品で選ばれる日コンに
- ◆所有特許は公開方針(プラットフォーム化)

環境技術の事業化に向けた投資の一例

環境投資
(スラッジ処理設備)

6億円



PAdeCS・
エコタンカル等の
環境製品を製造

2023年度
CO₂削減量

約**6**千トン/年
当社グループ
全体排出量の
30%に相当

加えて、上記環境製品を当社パイル・ポール等既存製品の
原材料に使うことで、**CO₂固定化商品**として市場に投入



詳細は当社ホームページ
「人を想うラボ」へ

基礎事業



施工現場



パイル(エスタス105)

ポール関連事業



COP



擬木柱



ポールメンテナンス

土木製品事業



PC-壁体

親杭パネル デコモッシュ



RCセグメント

環境事業等



パデックス(PAdeCS)

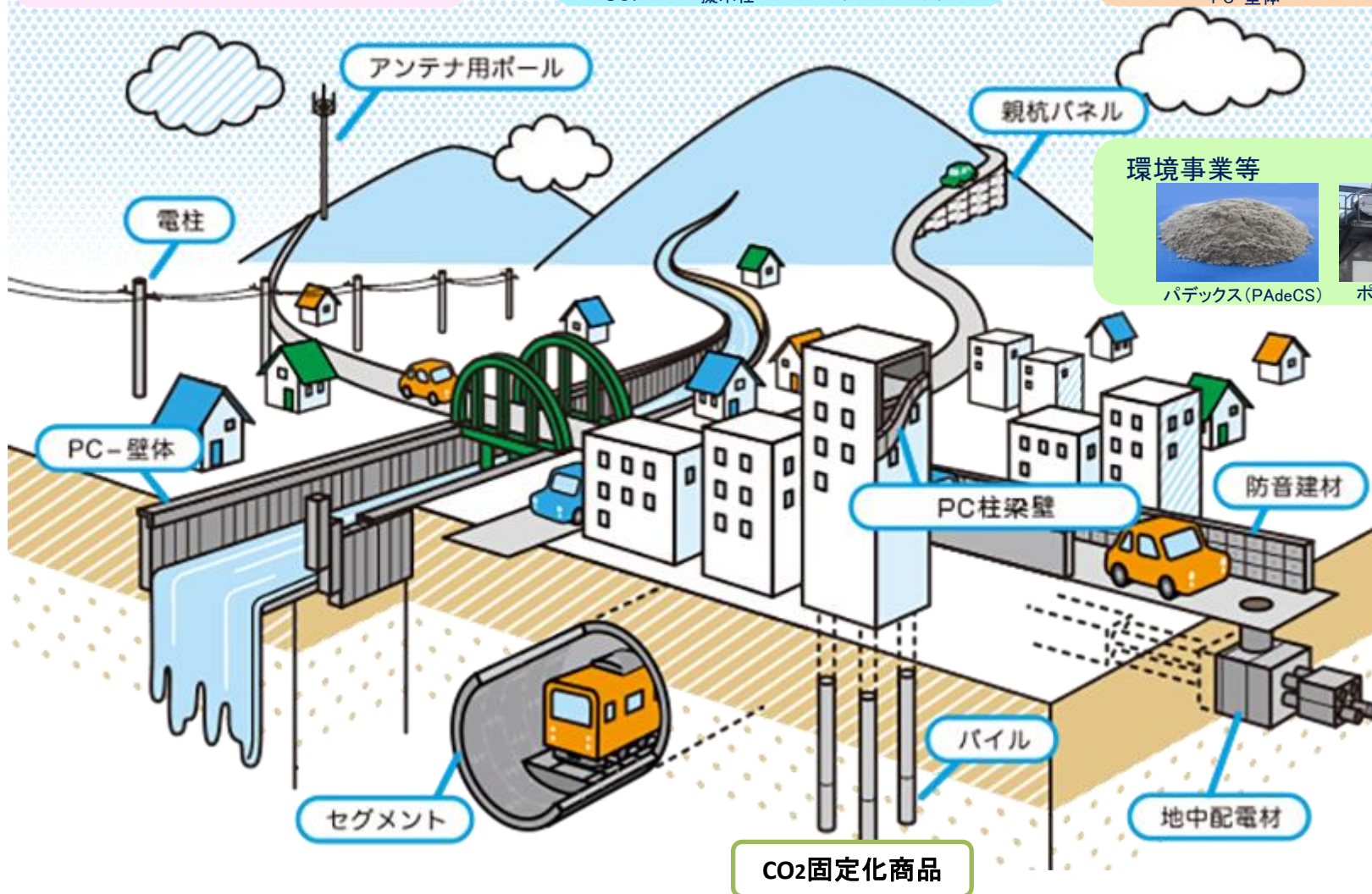


ポアセル(吸音材)

海外事業



NCミャンマー





日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

コンクリートを通して、 安全・安心で豊かな社会づくりに貢献する

◆ご注意

この資料に記載されている数値目標や将来見通し等は、本資料作成時において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります、いかなる確約や保証を行うものではありません。

◆お問い合わせ先

社長室 株式・IRグループ TEL : 03-3452-1025 <https://www.ncic.co.jp/>